



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久光 正郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 牛田 豊

TEL 052-562-2012

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	128,832	2.4	3,316	34.3	3,472	26.2	2,430	18.5
28年3月期第3四半期	125,867	6.6	2,469	80.2	2,752	92.6	2,051	113.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,555百万円 (177.4%) 28年3月期第3四半期 1,281百万円 (△31.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	80.20	—
28年3月期第3四半期	72.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	76,116	46,704	60.6
28年3月期	75,439	43,673	57.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 46,126百万円 28年3月期 43,117百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△0.1	4,100	19.8	4,300	15.2	2,900	11.1	95.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	30,371,908 株	28年3月期	30,371,908 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	54,156 株	28年3月期	93,623 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	30,310,035 株	28年3月期3Q	28,326,791 株
----------	--------------	----------	--------------

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(28年3月期40,000株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調が続いているものの、英国のEU離脱決定、米国の大統領選挙などによる為替の乱高下や新興国経済の減速など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、安値で推移していた主原料のとうもろこし価格が、米国中西部の高温・乾燥予報や南米の悪天候などから4月以降急騰した後、米国の大豊作見込みから初夏に下落し、以降は安定的に推移しました。こうした状況を反映して、飼料メーカー各社は4月に大幅な値下げをした配合飼料価格を7月に値上げした後、10月に再度値下げしました。第1四半期は原材料価格を上回る値下げとなり、非常に厳しい事業環境でありましたが、第2四半期以降はとうもろこし価格の値下がりにより、厳しさが幾分和らぎました。しかしながら、メーカー間の競争はさらに激化しており、厳しい状況は続いております。

このような状況のなか、当社は顧客の利益に貢献する差別化飼料の拡販や前期に締結した日本ハムグループ、伊藤忠商事グループとの資本業務提携を活かして売上拡大を図りました。また、前期に連結子会社化したみらい飼料株式会社を活用し、全国10工場の全体最適化による生産性向上やスケールメリットによるコストダウンで原価を低減するなど利益の改善に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,288億32百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業利益33億16百万円（前年同四半期比34.3%増）、経常利益34億72百万円（前年同四半期比26.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億30百万円（前年同四半期比18.5%増）となりました。

売上高は、畜産飼料の平均販売価格が低下したものの、前期の10月に連結子会社化したみらい飼料株式会社の売上が加わったことや、畜産飼料の販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、2.4%の増収となりました。営業利益は、水産飼料が好調であったことや販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、34.3%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、18.5%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (飼料)

売上高は、第1四半期の大幅な値下げの影響で平均販売価格が低下したものの、連結子会社化したみらい飼料株式会社の影響や飼料販売量が前年同四半期を上回ったことから、前年同四半期比4.0%増の1,092億92百万円となりました。セグメント利益は、生臭くなく美味しい魚をつくる飼料で水産飼料が業績を伸ばしたことや畜産飼料の拡販により、前年同四半期比30.4%増の28億5百万円となりました。

## (コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、特殊卵やペットフードの販売量が増加したものの畜産物が減少したことなどにより、前年同四半期比7.2%減の140億86百万円となりました。セグメント利益は、特殊卵の販売増がけん引し、前年同四半期比4.9%増の3億40百万円となりました。

## (その他)

売上高は、前年同四半期比1.7%減の54億53百万円、セグメント利益は、前年同四半期比39.5%増の3億36百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億77百万円増加の761億16百万円となりました。流動資産は470億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億36百万円増加しました。これは主に現金及び預金が17億58百万円、原材料及び貯蔵品が4億円、その他の流動資産が11億75百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が42億3百万円増加したことによるものであります。固定資産は290億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少しました。これは主に投資有価証券が10億34百万円増加したものの、有形固定資産が9億63百万円、無形固定資産が76百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ23億53百万円減少の294億12百万円となりました。流動負債は227億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億8百万円減少しました。これは主に買掛金が37億43百万円増加したものの、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が72億56百万円減少したことによるものであります。固定負債は66億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億55百万円増加しました。これは主に長期借入金が5億52百万円、その他の固定負債が4億28百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ30億30百万円増加の467億4百万円となりました。これは主に利益剰余金が18億85百万円、その他有価証券評価差額金が7億16百万円増加したことによるものであります。純資産の増加が総資産の増加を上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント上昇の60.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年 4 月28日に公表いたしました平成29年 3 月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年 1 月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年 6 月17日）を第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成28年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年 3 月28日）を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,539	2,780
受取手形及び売掛金	30,097	34,300
商品及び製品	2,398	2,326
仕掛品	676	700
原材料及び貯蔵品	6,237	5,837
その他	2,735	1,560
貸倒引当金	△348	△433
流動資産合計	46,336	47,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,911	6,580
機械装置及び運搬具(純額)	6,629	5,952
工具、器具及び備品(純額)	648	679
土地	8,363	8,338
リース資産(純額)	17	14
建設仮勘定	4	45
有形固定資産合計	22,574	21,610
無形固定資産	398	322
投資その他の資産		
投資有価証券	5,308	6,342
長期貸付金	2	5
退職給付に係る資産	5	4
その他	1,120	1,025
貸倒引当金	△307	△267
投資その他の資産合計	6,129	7,110
固定資産合計	29,102	29,043
資産合計	75,439	76,116

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,235	15,978
短期借入金	8,159	1,470
1年内返済予定の長期借入金	2,067	1,500
未払法人税等	496	564
賞与引当金	400	245
役員賞与引当金	44	—
その他	2,689	3,025
流動負債合計	26,093	22,784
固定負債		
長期借入金	3,063	3,615
債務保証損失引当金	38	17
退職給付に係る負債	671	667
資産除去債務	84	85
その他	1,813	2,241
固定負債合計	5,672	6,627
負債合計	31,765	29,412
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,394	4,392
利益剰余金	33,245	35,130
自己株式	△58	△34
株主資本合計	42,317	44,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,291	2,008
繰延ヘッジ損益	△273	82
為替換算調整勘定	6	△26
退職給付に係る調整累計額	△224	△162
その他の包括利益累計額合計	800	1,900
非支配株主持分	555	577
純資産合計	43,673	46,704
負債純資産合計	75,439	76,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)
売上高	125,867	128,832
売上原価	113,819	116,295
売上総利益	12,048	12,537
販売費及び一般管理費	9,579	9,220
営業利益	2,469	3,316
営業外収益		
受取利息	6	1
受取配当金	97	116
持分法による投資利益	4	3
貸倒引当金戻入額	156	3
債務保証損失引当金戻入額	7	21
保管料収入	137	—
その他	117	110
営業外収益合計	527	256
営業外費用		
支払利息	45	36
保管料原価	128	—
株式交付費	29	—
為替差損	12	38
その他	27	26
営業外費用合計	244	101
経常利益	2,752	3,472
特別利益		
固定資産売却益	1	1
ゴルフ会員権売却益	0	—
補助金収入	—	8
特別利益合計	1	10
特別損失		
固定資産除売却損	15	25
投資有価証券評価損	7	—
ゴルフ会員権評価損	5	2
特別損失合計	27	27
税金等調整前四半期純利益	2,726	3,454
法人税、住民税及び事業税	488	945
法人税等調整額	223	57
法人税等合計	712	1,003
四半期純利益	2,013	2,451
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,051	2,430



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	2,013	2,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274	716
繰延ヘッジ損益	△482	355
為替換算調整勘定	△0	△2
退職給付に係る調整額	29	62
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△27
その他の包括利益合計	△731	1,104
四半期包括利益	1,281	3,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,320	3,531
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	105,137	15,180	120,318	5,549	125,867	—	125,867
セグメント間の 内部売上高又は振替高	541	0	541	49	591	△591	—
計	105,679	15,180	120,860	5,598	126,458	△591	125,867
セグメント利益	2,151	324	2,476	240	2,717	8	2,726

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△770百万円、金融収支740百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	109,292	14,086	123,379	5,453	128,832	—	128,832
セグメント間の 内部売上高又は振替高	507	0	507	61	569	△569	—
計	109,800	14,086	123,886	5,514	129,401	△569	128,832
セグメント利益	2,805	340	3,145	336	3,481	△26	3,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△775百万円、金融収支773百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。